

あ ～ 0 6 0  
令和 2 年 11 月 13 日

西脇市長 片 山 象 三 様

西脇市議会  
議長 村 井 公 平

令和 2 年度西脇市議会新型コロナウイルス感染症対策事業に関する事業提案について

本市議会では、定例会のほか、5月、7月及び8月の臨時会において、新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策事業を審議し、必要となる予算を成立させてきました。

これにより、大きな影響を受けている市民や事業者を対象に、様々な事業が実施されているところです。

この度、本市議会では、市内8地区の地区区長会及び市内3商店会と懇談し、これまで実施してきた事業の効果や課題、更には、今後必要と思われる新たな事業等について意見を伺い、下記のとおり事業提案としてとりまとめました。

つきましては、この内容を十分御留意いただき、特段の御配慮をいただきますよう申し入れます。

記

- 1 令和 2 年度 12 月 補正 予算 対応 すべき 事項  
公民館のコロナ対策備品・消耗品の支給  
・マスク、消毒液、非接触体温計等の備品の購入支援は、今後各自治会でイベント開催が増加するに従い必要である。  
< 予算案 >  
世帯割 600 万円、均等割 400 万円 合計 1,000 万円
- 2 令和 3 年度 予算 対応 すべき 事項  
ポイントシール事業の実施（県予算がなくとも市単独事業で）  
・3商店会ともポイントシール事業への評価が高かった。  
・コロナ禍におけるV字回復フェーズ対策の他に市制15周年記念事業としても有効である。  
・市単独の場合、3つの商店会の連携やポイント満額未達の消費者のためにポイント口数に応じた抽選会を行うなど工夫した実施を望む。

< 予算案 >

1,800万円～3,000万円

【 600万円（当年度の半額）～ 1,000万円×3（商店会） 】

3 令和3年度検討すべき事項

- (1) 公平性の点からクーポン券発行事業又は（無償の）商品券配布事業の検討
  - ・個人単位で3,000円～5,000円の発行（他の自治体でも事例があり、これらを参考に実施の検討）
- (2) 中止しているイベントの再開と予算の確保
  - ・本年度中止したイベントについては、来年度は予防対策をしながら、再開に向け努力する。